

●北見市の年表

年代	西暦	できごと
平成 21年	2009	姉妹都市エリザベス市と提携40周年を迎える。
22年	2010	4月1日 112年続いた網走支庁名をオホーツク総合振興局と改称する。 6月20日 北見ハッカ記念館(昭和61年開館)25年目で来館者40万人を数える。 7月16日 ミントくんが、北見ぼんちまつりに初登場する。 7月18日 ぼんちまつり花火大会が、初めて雨天で翌日に順延となる。 9月19日 第5回B-1グランプリ厚木大会で、オホーツク北見塩やきそばが初めて参加し10位入賞となる。
23年	2011	3月11日 東日本大震災(北見震度3を記録) 5月21日 高知市と姉妹都市提携25周年、北見観光協会60周年を迎える。 7月1日 北海道新聞に、網走気象台発表「北見市の日照時間全国351位」に市民愕然とする。 7月2日 新ご当地グルメグランプリ北海道in北見大会が、端野町メルヘン広場で開催。 SLオホーツク号 北見一知床斜里間の沿線を36年ぶりに運転。 7月10日 インターナショナル オホーツクサイクリングが30回大会となった。 7月15日 北見ぼんちまつりに、北見のキャラクター「ペッパーちゃん」が登場する。 9月25日 JR北見駅開駅100年を迎える。 11月28日 新品種の馬鈴薯「スノーマーチ」が発表される。 この年から、北見市役所の解体工事がはじまる。
24年	2012	1月3日 北海道新聞北見支局が「焼き肉北見式」をシリーズで掲載始まる。 3月31日 北見仁頃高校閉校となる。 7月7日 道の駅おんねゆ温泉に「北の大地の山の水族館」がリニューアルオープンする。 7月中旬 市田信一氏が自費で蓮池の「蛍池」造成から8年、新に3,300㎡の「鏡池」が完成。 7月27日 旭山動物園から逃げたフラミンゴが、紋別コムケ湖に飛来、10月28日夕方の目撃を最後に姿を消す。 8月7日 オホーツク秀久庭～四季の小径がオープンする。 9月29日 第1回きたみde街コンが、ロータリー広場を中心に開催。 10月7日 北見北斗高校伝統の強行遠足が80回を数えた。 10月20日 きたみ菊まつりが60回記念として、鹿児島仙巖園との南北交流展示を開催。 12月19日 北見市光葉町に市民スケートリンクがオープンする。
25年	2013	3月31日 北見道路(北見市北上一端野町川向)10.3kmが開通。 6月22日 第28回たんのカレーライスマラソンが、受付開始から50分で定員の200名に達する。 6月24日 富士山が世界文化遺産に国内17番目に登録される。 7月6日 留辺薬天の川フェスタで、新キャラクター「まつぼう」が登場する。 9月8日 ブエノスアイレスで2020年第32回夏季オリンピック・パラリンピック東京大会が決定し、お・も・て・な・しが流行語大賞となる。 10月19日 北見市武道館オープン(柔道 山下泰裕氏記念講演) 11月1日 アドヴィックス常呂カーリングホールオープン。
26年	2014	2月7日 冬季オリンピック、パラリンピックがロシア「ソチ」で開催される。 北見市出身カーリング4選手とスピードスケート選手の5名が出場する。